

防災ミニ教室

本年度のまとめ



「避難体験」をどう生かすか

第5回防災ミニ教室が2月9日、三国コミュニティセンターで開かれました。本年度最後の教室。能登半島地震を振り返りながら三国地区の住民は防災、減災について今後どう備えていくかを考えました。

防災安心部会顧問の竹田周平氏（福井工大教授）が講師となり、約30人が参加しました。竹田氏は避難場所の違いや行動について説明。「昨年1月1日の能登半島地震で多

「地区防災計画」進めよう

多くの住民が初めて避難を体験した。そこ

- ・能登半島では犠牲者の半数以上が災害関連死だった
- ・持病悪化や栄養障害が原因で死に至る
- ・避難所や車内での生活は想像以上のストレスがある

災害関連死を考えよう

- ・30、40歳代の人も亡くなっている
- ・トイレ問題を解決しなければ安心安全な避難所にならない
- ・トイレと食事をセットで考える必要がある

生かすことが大切」として1月の避難体験を踏ま

地震から身を守るために

- ・備蓄品、非常用持ち出しの準備
- ・自宅周辺に危険箇所がないかを確認
- ・家族間で非常時の連絡手段を確立
- ・家具などの固定
- ・自宅に安全スペースはあるか

えて「移動手段の80%が車だったという地区もあった」ことから車を使った避難をトレーニングする時期にきている、との見解を示しました。

また被災地では想像を上回るストレスがあり、それが災害関連死につながることで、さらに避難所でのトイレ問題の重要性、避難スペースが狭いことなどを説明。「三国地区防災計画を進めること」が課題とし「防災は継続性が大切であり、それが非常時の行動につながる」と、強調しました。

みくに大好き部会 & 三国コミセンコラボ講座

三国の味を楽しもう！みくにの冬…お魚アレコレ

地元ならではの味を楽しみ、ふるさとに親しむ「三国の味を楽しもう！」。今回は三国の冬の魚をテーマに「タラ」のさばき方とレシピを学びました。



捨てる場所がないと言われるタラ。講師の武井ちひろ先生からおいしく仕上げるポイントを分かりやすく教えていただき、「へー、

そうなんだ。」との参加者の声。タラは丁寧に処理をすることで最大限に旨味が活かされるそうで、タラ1匹からさまざまなメニューが出来上がりました。参加者は知らなかったタラ料理の味に舌鼓を打ち、もっとこの魅力を広めていこうと意気込みを見せていました。

メニュー
タラの三平汁・タララーメン、タラの黄金マヨ焼き、白子の酢の物、タラの野菜みそマヨ焼き



健康福祉・育成部会

「食べる力は生きる力」をテーマに地域の食生活改善推進員が講師となり、三国北、三国南小で調理実習を行いました。1年生は

さつまいもでおやつ作り。3、4年生は手づくりの味噌を使った料理教室。生きる上で欠かせない「食べる力」を児童らにしっかりと教えました。

食育で生きる力を育てる

みくに大好きプロジェクトで高校生と一緒にラッキョウのスィーツ作りに取り組んでいます。高校生と一緒にいろいろな意見を出し合い、あてもないころでもない試作するのはとても楽しいです。味覚はもちろん、意見もそれぞれ。話し合う中でお互いを認め合って、いい方向を探すことを高校生とできることに感動を覚えます。みなさま、ラッキョウスィーツデビューをお楽しみに！

(希)



みんなのくふうでにぎやかに…

- みくにワイワイまつり
- ラッキョウでスイーツ
- 三国の味を楽しもう！

楽しく一緒にまちづくり
みくにの魅力をプラス!!

PLUS

まち協だより 74号 発行 25.2.27

編集 みくに地区まちづくり協議会
事務局 三国コミュニティセンター内
坂井市三国町神明1丁目4-20 ☎82-6400
mikuni-k@mx3.fctv.ne.jp

みくにワイワイまつり 子どもフリーマーケット ワタシのお店にどうぞ！



キラかわチーム

みんなで協力して手づくりの可愛い小物を売ります！

三国南小4年 西川 愛純、石丸 侑采
三国南小2年 西川 幸希、石丸 千穂里



なんでもショップ AHTR

三国南小4年 斉藤 朝大、藤田 泰誠、西川 陸
三国南小2年 斉藤 晴也

おもちゃや本、ぬいぐるみも売ります。元気がいい笑顔でがんばるぞ！



Smile (eco)

SDGsを目指して！ペットボトルリサイクルのアクセサリーを売ります。

三国南小4年 小林 純華、森岡 由衣
三国南小2年 森岡 美心



くらなかしょうてん

三国南小2年 中嶋 陽徳、倉橋 侑大

おもちゃや手づくりの粘土細工。いっぱい売れるようがんばるぞ！



ハッピーランド

三国南小4年 大権 皇利、大権 天利、王 一にん

おもちゃや洋服、アクセサリーを売ります。お客さんに喜んでもらいたいな。



キーホルダー屋さんチーム

三国南小4年 南 優希
三国南小2年 南 幸希、前田 蒼介

手づくりのキーホルダー。がんばって売ります！



キラキラハッピー

三国北小4年 山腰 紗也加、中川 夏恋、神崎 留衣

宝石みたいなアクセサリーを売ります。ぜひ来ててください！

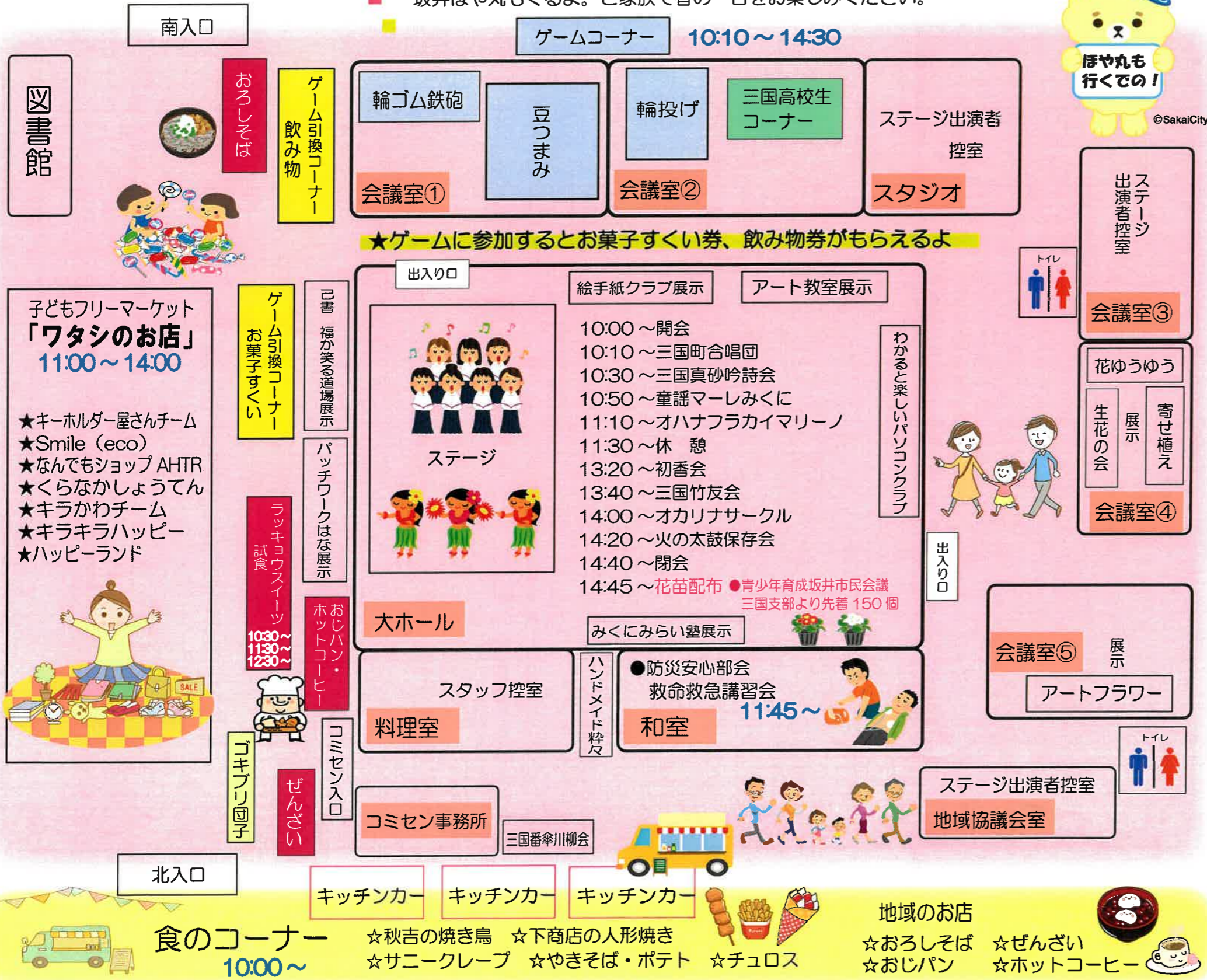
3月15日 土 12:00 ~ 20:00
 展示・ワークショップ (春の寄せ植え作り COM+3月号にて予約案内)

3月16日 日 9:00 ~ 15:00
 ステージ発表・展示・遊びのコーナー・
 子どもフリーマーケット・キッチンカー

みくにワイワイまつり

場所：三国コミュニティセンター

「みくにワイワイまつり」が3月15、16日の両日開かれます。
 子どもたちのフリーマーケット「ワタシのお店」、講座生のステージ発表や展示、輪投げ、豆つまみなどのゲームコーナー、さらに焼き鳥などのキッチンカーも並びます。
 坂井ほや丸もくるよ。ご家族で春の一日をお楽しみください。



三国高校生とまち協がコラボする「三国大好きプロジェクト」が本格的に動き出しました。地域探求

三国高生とまち協がコラボ

同好会の生徒が「特産のラッキョウを使ったスイーツ」「三国をPRする顔出しパネル」の2つのテーマに分かれ取り組んでいます。ラッキョウを生かしたお菓子は、女子生徒8人がいろいろとアイデアを出し、コミュニケーションセンター職員の手導で試作品が仕上がりました。

試作品はラッキョウの風味を活かしたパウンドケーキ。ラッキョウのみじん切りを生地に混ぜて焼き上げました。チエダーチーズ、

顔出しパネルも制作中



黒コショウなどを使って、いま流行りの「甘じょっぱい」味が特長。ちよっぴり大人の味を楽しめるよう工夫をしています。

「ワイワイまつり」で試作品を準備(10時30分、11時30分、12時30分の3回)しますので、ぜひ感想をお寄せください。

「顔出しパネル」は三国祭の山車人形、東尋坊、龍翔館など三国ならではの風景や文化を背景に生徒らが図案化、2枚のパネルに仕上げられています。大まかな原案もまとまり、あとは色付けやパネルの大きさを決める作業が控えています。パネルの設置場所も大きな課題で「三国に来る人の思い出づくり」と全員が意気込んでいます。

ラッキョウを使ったスイーツ試作

坂井ほや丸と遊ぼう!

10:30 ~ 11:00

ほや丸と一緒に写真を撮ったり、ハイタッチができます



身近に起きる異変にどう対処 救命救急講習会

もちが詰まった、子どもに異変、など家庭内で身近に起きることへの対処法も勉強します。お母さんたちもぜひ参加してください。

11:45 ~ 12:40

三国婦人会 ゴキブリ団子販売

あなたのお住まいを守ります! 効果抜群!手づくりゴキブリ団子

10コ 300円
5コ 150円

駐車台数には限りがございます。なるべく乗り合わせでのご協力をお願いします。